

## TMS-19-Q の臨床的検討

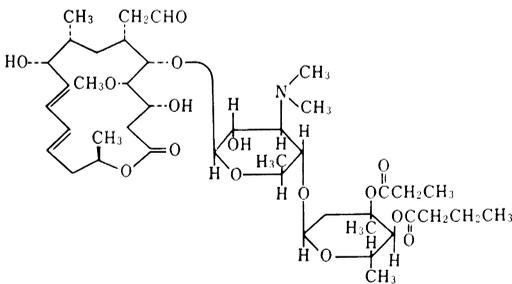
長谷川篤平

佐野厚生総合病院内科

新しい半合成 16 員環マクロライド系抗生物質 TMS-19-Q は、類似の化学構造式をもつ他のマクロライド抗生剤に比べ、抗菌力が強いこと、一部の耐性菌に対しても抗菌力をもつこと、その製剤である GC 錠は吸収のバラツキが少ないことなどの特徴を有する。本剤を急性気管支炎 2 例、急性扁桃炎 2 例の計 4 例に 1 日 600mg 14 日間投与したところ、全例有効という成績であった。重篤な基礎疾患をもつ例がなかったこと、疾患そのものも急性のしかも比較的軽症のものであったことなどにもよるであろうが、本剤の有用性を裏付ける結果であった。なお、本剤によると思われる副作用および臨床検査値の異常は 1 例もみられなかった。

TMS-19-Q は東洋醸造(株)にて開発された新しい半合成マクロライド系抗生物質であり、既存の抗生物質ジョサマイシン(JM)やミデカマイシン(MDM)に類似の化学構造式を有する(Fig. 1)。本剤は従来のマクロライドと同様、グラム陽性球菌、マイコプラズマなどに強い抗菌力を示し、また、*Legionella*, *Campylobacter*, 嫌気性菌などに対しても強い抗菌力を示すこと、従来のマクロライド耐性菌の一部に対しても抗菌力を有すること、経口投与で速やかに吸収され、代謝物もなお高い抗菌力を保持していることなどの特徴を有する<sup>1)</sup>薬剤である。我々は本剤にさらに、製剤的処方改良を加え、吸収のバラツキを少なくした TMS-19-Q・GC 錠を内科領域の急性感染症に用い、若干の知見を得たので報告する。

Fig. 1 Chemical structure of TMS-19-Q



## I. 方 法

昭和 58 年 2 月～3 月に本院内科を受診した、急性呼吸器感染症の 4 例を対象とした。投与量は、TMS-19-Q・GC 錠を 1 日 600mg 分 3 とし、食前に経口投与した。

各症例は、体温、咳嗽、喀痰、咽喉頭痛、頭痛、扁桃発赤、腫脹、全身倦怠感などの臨床症状について、経時的に観察し、それらの結果および X-P, WBC, 赤沈, CRP などの結果より、臨床効果を著効、有効、やや有効、無効の 4 段階で判定した。

また、投与前および投与後に赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数、白血球分画などの血液検査、S-GOT, S-GPT, AI-P, 総ビリルビンなどの肝機能検査、BUN, 血清クレアチニンなどの腎機能検査、および尿検査を行ない、これらの検査値の異常の有無を検討することとした。また、自覚的副作用の有無も観察した。

さらに、臨床効果、細菌学的効果、副作用の有無を勘案し、有用性を有用性あり、やや有用性あり、どちらともいえない、好ましくないの 4 段階で判定した。

## II. 成 績

症例は、年齢 17 歳から 52 歳までの平均 38 歳、女 3 例、男 1 例の計 4 例であり、疾患名は急性気管支炎 2 例、急性扁桃炎 2 例であった。臨床効果は全例有効であった (Table 1)。重症度はすべて中等症、投与量・期間は全例 1 日 600mg 14 日間であり、投与前の菌検査は行っていない。また、本剤によると思われる副作用および臨床検査値の異常は 1 例も認めなかった。

以下に各症例の概要を記す。

**Case 1** A. T., 43 歳、女、急性気管支炎。

来院 5 日前より感冒様症状で、特に咳嗽、喀痰が著明。初診時体温 37.8°C。熱感、咽喉頭痛、嚥下痛 (+), 咳嗽 (++)、CRP (2+)、胸部 X-P 上異常陰影認めず急性気管支炎と診断し、本剤 1 日 600mg, 1 日 3 回の投与を行なった。7 日間の投与で症状はかなり改善し、14 日間で症状はすべて消失し、有効と判定した。

**Case 2** S. K., 39 歳、女、急性気管支炎。

咳嗽、喀痰、咽喉頭痛を訴えて来院。初診時症状、体温 38.8°C、咽喉頭痛 (+), 咽頭発赤・腫脹 (+), 咳嗽

Table 1 Results of clinical trial with TMS-19-Q · GC tablet

No.	Age Sex	Diagnosis	Severity	Underlying disease	Daily dosage (mg×times/day)	Duration (days)	Concomitant drugs	Isolated organism	Clinical effect	Adverse effect
1	43 F	Acute bronchitis	Moderate	(-)	200×3	14	(-)	Not tested	Good	(-)
2	39 F	Acute bronchitis	Moderate	(-)	200×3	14	(-)	Not tested	Good	(-)
3	17 M	Acute tonsillitis	Moderate	Mental deficiency	200×3	14	(-)	Not tested	Good	(-)
4	52 F	Acute tonsillitis	Moderate	(-)	200×3	14	(-)	Not tested	Good	(-)

(+)、WBC 9,500, 赤沈 25mm/50mm, CRP (3+)。急性気管支炎の診断にて、本剤1日 600mg 投与を開始し、7日間で咳嗽(+)を残すのみとなり、14日間の投与で症状はすべて消失、WBC 6,000, CRP (-)となり有効と判定された。

#### Case 3 T. Y., 17歳, 男, 急性扁桃炎。

前日より、発熱、扁桃腺肥大、発赤・腫脹あり来院する。体温 37.2°C, 咽喉頭痛、扁桃発赤、腫脹(+)、WBC 9,600, CRP (4+)。本剤1日 600mg 7日間の投与で、咽喉頭痛、扁桃発赤・腫脹ともに(+)となり、14日間の投与で消失し有効の判定であった。

#### Case 4 M. M., 52歳, 女, 急性扁桃炎。

感冒様症状を訴えて来院。初診時の症状は咽喉頭痛、扁桃発赤、腫脹(+)、頭痛、全身倦怠感(+), 体温 37.8°C, WBC 8,300, 赤沈 43mm/80mm, CRP (2+)。本剤1日 600mg 1日3回の投与を行ない、7日目で諸症状改善にむかい有効と判定した。

### III. 考 察

最近の抗生物質の開発は、opportunistic infectionの原因となるグラム陰性桿菌などの弱毒菌に主眼がおかれ、そのためにそれらの薬剤では、グラム陽性球菌に対する抗菌力は逆に減弱している傾向にある。しかも、従来よりのβ-ラクタム系抗生剤に対し、最近、耐性菌が増加しているという報告もあり<sup>2)</sup>、なおかつ、第一線の診療の場、特に急性呼吸器感染症や皮膚化膿性疾患においては、今なお、グラム陽性球菌が主起炎菌であることから、これらの菌に対する抗生剤の開発もまた、急務と考えられる。

今回我々が検討を試みた TMS-19-Q·GC 錠は、半合成マクロライド系抗生物質製剤であり、グラム陽性球菌、嫌気性菌、マイコプラズマなどに強い抗菌作用を示し、また呼吸器感染症に多いインフルエンザ桿菌、ブランハメラカタラーリスなどにも抗菌力を有する薬剤であり、前記のような感染症に有用性の高い薬剤である。また、吸収の個体差を少なくするような製剤的工夫もほどこされておられ、その効果が期待された。

今回の我々の成績は、急性気管支炎2例、急性扁桃炎2例の計4例においてのものである。本来ならば、胸部X-Pで少し陰影のみられるような軽度の急性肺炎が、症例としては最も適切であり、効果の判定もしやすかったのであろうが、残念ながら今回の治験ではそのような症例はなかった。それでも、急性気管支炎2例および急性扁桃炎2例の計4例全例が有効という成績であり、ほぼ満足すべき結果であったと思う。このことは、重篤な基礎疾患をもつ例がなかったこと、疾患そのものも比較的軽症のものであったことなどにもよるであろうが、本剤によると思われる副作用、臨床検査値の異常もみられなかったことから、本剤は急性の呼吸器感染症に対し有用性の高い薬剤であると考えられる。

### 文 献

- 1) 第31回日本化学療法学会総会, 新薬シンポジウムⅣ. TMS-19-Q, 大阪, 1983
- 2) 小酒井 望, 森三樹雄, 設楽正登, 工藤美保子, 森本まり: 黄色ブドウ球菌の各種抗生物質に対する感受性の年次推移. Jap. J. Antibiotics 35: 1934~1943, 1982

## A CLINICAL STUDY OF TMS-19-Q

TOKUHEI HASEGAWA

Department of Internal Medicine,  
Sano Kosei Sogo Hospital

TMS-19-Q, a new macrolide antibiotic, is active against gram positive bacteria, anaerobes, *Mycoplasma* and some of macrolide resistant strains.

TMS-19-Q·GC tab. was given daily 600mg for 14 days to the patients with acute respiratory tract infections in 4 cases, acute bronchitis in 2, acute tonsillitis in 2.

The clinical efficacy was good in all cases, and no side effect nor abnormal laboratory findings were observed.